



# 桜台だより

桜台自治会創立25周年記念特集号

## 目次

1. 記念号発行にあたって「会長挨拶」・・・ 1
2. 創立25周年を迎えて・・・・・・・・・・・・ 2
3. 桜台の人口動態・・・・・・・・・・・・・・ 2～ 4
4. 自治会会員数の5年毎の動き・・・・・・・・ 4
5. 桜台の一層の繁栄を自指して・・・・・・・・ 4～ 5
6. 自治会25年の歩み・・・・・・・・・・・・・・ 5～ 7
7. 25周年記念事業の実施・・・・・・・・・・・・ 7～12
8. 編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

## ( 1 ) 記念号発行にあたって

会長 藤原 忠



桜台自治会は、今年で創立25周年を迎えることになり、会員の皆様と共に喜びたいと思います。

桜台団地は、昭和50年代の前半、椎の木台団地対面の丘陵地が開発造成され、主として首都圏や臨海部の企業で働く全国各地から集まった人達に移り住み、昭和56年11月に全町一体の桜台自治会が誕生しました。当初は会員510名余りで発足しましたが、現在は約1,250世帯の会員を擁し、市原市526町会の中でも単独の町会としては、三指に入る大きな団地自治会として運営されています。これもひとえに歴代役員をはじめ会員の皆様のご協力とご努力の賜物と深く感謝申し上げます。

当団地も四半世紀が経過し少子高齢化が進んでいます。初期段階で入居した子供達は巣立ち、働き盛りだった人達も定年前後の年齢となり、時代の変化と共に生活環境も変わってきました。これからは、住民同志の顔見知りを増やし、次世代を担う子供たちの育成、高齢化社会への対応や地域社会との連携が重要になると考えます。こうした中で、最近ボランティア活動に参加してくれる人が多くなり、誠に喜ばしいことです。主に定年後時間的余裕が出来た人達ですが、健康作りや友達作りも兼ね、住み良い町作りに活躍しています。今後は自治会役員、長寿会、婦人会、ボランティア隊と連携して、終の住みかとなる桜台発展のため、励みたいと思います。

椎の木台の佐藤さんがご提供の下さった鉢植えの菊です。フェスティバルの期間中会場に飾らせていただきました。



## (2) 創立25周年を迎えて

桜台自治会は、この11月22日で創立25周年になります。昭和56年(1981年)の発足当時、会員数は510余名でしたが、5年後の昭和61年(1986年)には、ほぼ現在の会員数に匹敵する、1,020名を超える大団地に発展しました。その後も会員数は徐々に増加し、この9月末現在では1,248名になりました。ただご多分に漏れず当時の若い街も、少子化の波の中で急激な高齢化が進み、福祉や介護問題が顕在化して今日に至っています。

運用面では、自治会の会則も、時代の流れ、求めに応じて修正もしくは全面改訂し、各種役員会は言うに及ばず8つの専門部がこの会則に沿った運用を推進しています。また定着行事として、夏祭り子供神輿、盆踊り、桜台フェスティバル、敬老憩いの日、ボランティアによる防犯パトロール、一斉清掃デー等が挙げられます。

先日「桜台だより」5月号で、役員25名の皆さんにアンケートで、「桜台の好きなところ」「自治会に期待すること」をお聞きしました。まず「好きなところ」では「四季の自然の美しい生活環境、緑が多く静かで町並みがきれい、夜空がきれいで空気が美味しい」等々。

また「期待するところ」では、「老幼にやさしく、犯罪の無い安全な住み良い街づくり」でした。現在私たちが、この素晴らしい桜台の生活環境を享受出来るのも、会員相互の努力も然る事ながら、25年に亘る歴代の自治会役員の方々、ボランティアの方々のお陰と、25周年を迎えるに当たって、改めて心から感謝する機会としたいものです。

## (3) 桜台の人口動態

以下のデータは、平成8年、13年、18年の5年毎の4月1日時点のデータを、千葉県人口統計から抜粋したものです。

### (A) 人口及び世帯数の動き

表1にもあるように、過去10年間で人口は500人以上減少しています。平成8年を100とした場合、13年は95.0、18年は87.3と微減しています。これは後述しますように、年少(15歳未満)人口の減少に起因するところ大と推測されます。他方世帯数の方は、同様に平成8年を

表1

	人口	世帯数
平成8年	4,352	1,280
平成13年	4,134	1,321
平成18年	3,800	1,354

100としますと、13年は103.2、18年は105.8と微増しています。これは造成地への新築による世帯増と推測されます。次に1世帯あたりの世帯人員については、平成8年は3.4人、13年は3.1人、18年は2.8人と、世帯規模の縮小が進行しています。これには複雑な要因が絡まっているものと思われます。つまり年少人口の減少、子供の独立による転出(核家族化)、1人暮らし、もしくは2人暮らしの老年世帯増等です。

## (B) 年齢(3区分)別人口の動き

表2からも分かるように、過去10年間で15歳から64歳までの生産年齢人口が微減しているのに比べ、15歳未満の年少人口が激減しています。ちなみに平成8年の年少人口を100とした場合、13年は62.9

表2

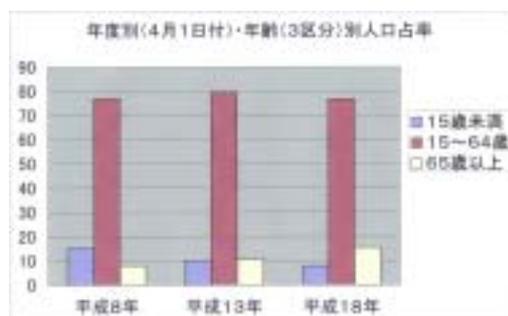
18年は45.2と半分以下になっています。一方65歳以上の老年人口は、同様に平成8年を100とした場合、13年は126.6、18年は170.5と激増しています。

	平成8年	平成13年	平成18年
15歳未満	660	415	298
15~64歳	3,346	3,281	2,912
65歳以上	346	438	590
合計	4,352	4,134	3,800

以上は絶対数による動きですが、これを

占率で表しますと、図1で見ると生産年齢人口の占率がほぼ横這いなのに対して、

図1



年少人口は、15.2、10.0、7.8と顕著な少子化の進展が見てとれます。一方老年人口は、平成8年に8.0と年少人口より占率は低かったのですが、13年を境に10.6と逆転し、18年には15.5と大幅な占率アップとなっています。これは長寿化と少子化という典型的な少子高齢化現象であるといえます。

## (C) 直近の人口等の実態(10月1日現在)

### (ア) 町丁別世帯数及び男女別人口

表3及び図2が示すように、今年の4月に比べ、世帯数は横這い、人口は45名減少しています。

図2



表3

	世帯数	男子	女子	合計
1丁目	226	356	347	703
2丁目	461	631	641	1,272
3丁目	376	504	494	998
4丁目	291	394	388	782
合計	1,354	1,885	1,870	3,755

### (イ) 年齢別男女別人口

50代60代の、いわゆる熟年期の占率が50%近くで非常に高い。この殆どの人達が

図3

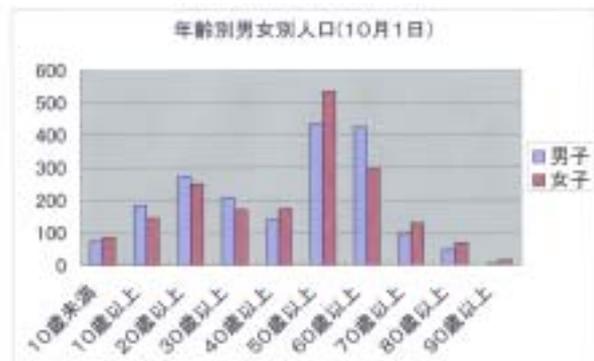


表4

	男子	女子	合計
10歳未満	74	87	161
10歳以上	184	145	329
20歳以上	274	250	524
30歳以上	209	171	380
40歳以上	139	174	313
50歳以上	435	535	970
60歳以上	424	296	720
70歳以上	95	129	224
80歳以上	46	68	114
90歳以上	5	15	20
合計	1,885	1,870	3,755

所帯主であると推測されます。これは30代40代の壮年期に転入してきた人達が、20数年を経て熟年に達した証左であります。それにしても少年期(20歳未満)の占率が13.1と低いのは、将来気掛かりなことです。

### (4) 桜台自治会会員数の5年毎の動き(毎年4月)

表5にもあるように、1981

表5

年自治会発足時に、409名であったのが、5年後の1986年には、一挙に1000名を超

年度	1981	1986	1991	1996	2001	2006
会員数	409	1,020	1,128	1,206	1,251	1,256

える大台に乗り、以後20年間微増を続け今日に至っています。現会員数は、ほぼ飽和状態で、これからは一進一退の状況が続くものと思われます。

なを直近(10月1日現在)の

表6

町丁別の会員数は表6の通りです。年度初4月時点より8名減少しています。

	1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	合計
会員数	218	427	342	261	1,248

### (5) 桜台の一層の繁栄を目指して

桜台が将来共に繁栄するには、少子高齢化の進行により、人口絶対数が減少している現状に歯止めを掛け、過疎化を防ぎ、世代交代を推進することが大切なことは申すまでもありません。その為には、独立して転出した子や孫達が、嬉々として回帰して来るような、一層の魅力ある街づくりが不可欠です。

そして一層の魅力ある街にするには、現状維持でも可能なのか、それとも何かをプラスし

て実行しなければならないのかを明確にし、自治会を中心に全住民が、その解決に向けて取り組むのが大切と思われま

#### (A) 全員参加による自治会の一層の活性化

各種役員会、班長会、8 専門部、各種ボランティアなど、25 年の歴史の積み重ねに因って確立している立派な現体制は今後共に尊重し維持していくことも大切ですが、時代の流れ、求めに応じて進化させる柔軟性を兼ね備えることも必要です。その為には、住民とのコミュニケーションを密にし、常時出来るだけ多くの住民の意見を集約且つ反応し、有形無形に拘わらず住民参加による自治会の運用が不可欠です。そしてそれこそが自治会の一層の活性化に繋がります。広報部は自治会と住民とのコミュニケーションの充実を心掛けます。

#### (B) 老幼にやさしく、安全で住み良く、楽しい街づくり

まず高齢者世帯への対応は、向こう三軒両隣が声をかけ見守ることです。福祉や介護の問題は、国とか自治体に依存する他ありませんが、「隣は何をする人ぞ」ではなくて、常に温かい関心を持つことです。現在桜台では福祉部及び3名の民生委員の活躍の他に「優しい団地作り」をモットーに婦人会の方々が70歳以上の一人暮らしのお年寄りのお世話をしています。また、60歳以上の高齢者の社会参加による「生きがいづくり」「健康づくり」の一環として長寿会が活躍しています。

安全な街づくりでは、防災部、防犯部が活躍しています。特に防犯部では、ボランティアによる防犯パトロール、下校時のチビッコの安全確保(スクールガード)等を推進しています。

住み良い街づくりでは、生活・環境部が団地内の清掃、ごみ等の問題に対処しています。

楽しい街づくりでは、夏祭委員会が子供神輿や盆踊り大会を主催し、また文化部が桜台フェスティバルを担当、体育部が体育振興を推進しています。転出するかもしれない、子や孫たちにふる里意識を持たせるのに役立ちます。

#### (C) 四季の自然の美しい生活環境を守る

4つの公園と大きな池、大きなグラウンド、幼稚園に小学校。宅地6割、公園・池・緑地その他4割、こんな贅沢な住宅団地が他にありますか。一年中緑に包まれた桜台、特に春の桜は筆舌に尽し難い程の絶景です。今後とも自治会を中心に、住民全員で守って行きましょう。

### (6) 自治会25年の歩み(25年の特筆すべき事項の抜粋)

以下は単年度だけでなく、反復継続して行われている特筆すべき事項を中心に記述します。

#### (A) 定期総会

昭和56年(1981年)11月22日の創立総会、翌57年5月23日の定期総会以後は毎年4月中旬に開催している。主たる内容は、前年度の活動報告 会計報告、

当年度の活動方針 会計予算 本部役員体制である。今年で26期に及ぶ。

### (B) 自治会会則改訂歴

創立以降の改訂は以下の通りである。

平成5年4月25日	全面改訂	平成14年11月17日	一部改訂
平成13年4月21日	一部改訂	平成16年6月6日	一部改訂
平成14年4月21日	一部改定	平成17年4月24日	全面改訂

### (C) 創立記念事業

昭和61年(1986年)4月	創立5周年記念誌発行
平成3年9月23日	創立10周年記念運動会開催
平成8年11月	創立15周年記念誌発行
平成12年11月26日	創立20周年記念式典(本来20周年は平成13年なるも1年早く実施) 創立20周年記念誌発行
平成18年10月30~ 11月4日	創立25周年記念フェスティバル開催(内容は後記) 創立25周年記念特集号の発行 バス停付近にベンチ 3基の設置

### (D) 歴代会長

初代会長	谷口 健蔵	1981年
2代会長	鷲谷 政之助	1982年~1992年(物故平成6年)
3代会長	谷口 健蔵	1993年~1998年
4代会長	秋元 實	1999年(物故平成13年)
5代会長	和田 幸三郎	2000年~2004年
6代会長	藤原 忠	2005年~

### (E) 定例行事

#### (ア) 子供神輿、盆踊り大会

昭和63年の夏を皮切りに、翌64年(平成1年)平成5年を除き、今夏まで毎年開催されている。当初夏祭りは、7月に子供神輿2日間、8月に盆踊り大会2日間、通算4日間に亘り開催されていたが、その後2日間に短縮され、平成12年からは8月に1日間限りとなった。

#### (イ) 桜台フェスティバル(含敬老憩いの日)

平成13年より毎年10月末から11月初旬にかけて2週間程度(今年は6日間)開催。内容は会員の、書道・絵画・陶芸等の作品を展示、期間中に敬老憩いの日を設定する等である。今年の詳細については後述。

#### (ウ) 有秋地区市民体育祭参加

昭和63年(1988年)10月10日に初参加、以後はしばらく途絶えるも平成4年からは毎年参加している。

#### **(エ) 有秋地区防災訓練参加**

平成6年9月から市主催の総合防災訓練に参加している。

#### **(オ) 広報誌の発行**

平成12年以降、平成16年を除き年間2～3回広報誌を発行している。特に今年からは、自治会の動きをタイムリーに伝える「桜台ニュース」を毎月発行し、一方まとまった形で伝える「桜台だより」(従来は「自治会レポート」)を年3回発行することにした。

#### **(フ) その他事項**

##### **(ア) 桜台自治会館**

自治会館及びその土地は、昭和57年(1982年)6月21日、団地造成工事を担当した(財)日本労栄協会より、当時の会員634名の持分として無償で譲渡された。その後増築工事(2F大ホール)が行われ平成2年2月26日に竣工した。

##### **(イ) 有秋南小学校**

昭和57年4月に有秋南小学校が開校となった。

##### **(ウ) 優良町会表彰受賞**

平成1年1月26日、第21回市原市町会連合会年次大会において優良町会として表彰を受けた。

##### **(エ) 深城池に架橋**

市が地元の意向を受けて平成9年に桜台雨水調整池(深城池)に、八橋や遊歩道を付設し水緑景観を整備した。

##### **(オ) 防犯ボランティア・パトロール隊**

防犯部の呼びかけにより、13名のボランティアで発足、16年12月1日から防犯パトロールを開始した。空き巣、車上荒らしの抑制を主目的としたが、ポイ捨ての缶やゴミを収集しながらパトロールを実施。今年の11月1日現在の人員は55名(男性41名、女性14名)。パトロールは、毎週、月曜日～土曜日の午前と午後各1回、都合のつく人で実施。有秋南小学校の「スクールガード」も実施(登録26名)

##### **(カ) 広報車(軽貨物)の購入**

平成16年6月、自治会の広報車として購入。日常は防犯広報を中心に活用されている。

#### **(7) 25周年記念事業の実施**

自治会は25周年記念事業として、**25周年記念号の発行** **ベンチの設置**(桜台メイン通りのバス停近辺に3基) **25周年記念フェスティバルの実施**の3つの事業を決め、予定通り実施しました。ベンチの設置及びフェスティバルの実施状況については次の通りです。

##### **(A) ベンチ(愛称・道の椅子)の設置**

近頃、高齢者が買物や散歩の途中に、道端のコンクリート製の排水柵や擁壁に腰を下ろし

で一息されている風景をよく見かけます。そこで、道行く人の休憩あるいは談笑の場所として利用できるように、道路に隣接した空地に、椅子を設置することにしました。現在このようなベンチは、町内では2箇所に設置されていますが、今回は「桜台通り」のバス停近辺に3箇所（1丁目バス停緑地、中央バス停緑地、3丁目バス停緑地）設置し、順次その数を増やしていくことにしました。この計画を市原市公園緑地課に相談したところ、全面的にご協力いただき、下記の通り立派な「道の椅子」を設置していただきました。すでに道行く人々がこれを利用され、一息しながら談笑されています。あらためて市原市のご好意に感謝したいと思います。末永く大切に使用しましょう。



桜台入り口バス停 緑地



中央バス停 緑地



3丁目バス停 緑地



南小南門前（修理）

早速利用しています。



## (B) 25周年フェスティバルの実施

フェスティバルの内容は 作品展示会、 ふれあいの集い、 演技発表会の3つの行事でした。それぞれの実施状況は次の通りです。

### (ア) 作品展示会

10月30日～11月4日の通算6日間に亘って、合計27名プラス2団体の作品が展示され、来場者は実に481名にも及びました。次にその作品の一部をご紹介します。



### (イ) ふれあいの集い(11月4日実施)

最初に、小椋 俊一実行委員長より寄せられた「ご来場御礼の挨拶」をご紹介します。

#### ご来場御礼の挨拶

桜台の皆様へ

桜台自治会創立25周年を記念して、子供さんからお年寄りの方まで多くの皆さんに気軽にくつろいでいただき、なお且つ経費の負担が少ない企画はないものかと考え、「ふれあいの集い」(11月4日)を計画した次第です。

当日は、当初の計画を大幅に上回る皆様の来場をいただき、心より厚く御礼申し上げます。また、発表者の皆様、係りの方々、ご協力有難うございました。準備不足のため、行き届かない面が多々ありましたことを、ここにお詫び申し上げます。来年度は、新役員さんにより更に良い企画が生まれ、皆様がもっと楽しんでいただけることを期待して御礼の挨拶とさせていただきます。

「ふれあいの集い」実行委員長 小椋 俊一

当日のご来場者人数は下記の通りです。

	計 画	実 績	増 減	計 画 比
子供(小学生以下)	70人	105人	35人	150%
大人	230人	302人	72人	131%
計	300人	407人	107人	136%

次に、当日の子供たちが、楽しそうに遊んでいるスナップ写真を以下にご紹介します。





### (ウ) 同好会等の演技発表会

総勢35名の住民が、琴・舞踏・ハーモニカ・詩吟・謡曲・オカリナ・フラダンス等で技を競いました。最後は、ビンゴゲームで盛り上がりました。以下はそのスナップです。





## ( 8 ) 編集後記

今年のフェスティバルは、期間中天候に恵まれたこともそうですが、桜台総ぐるみの参加で、にぎにぎしく、大盛況裡に終了したことが、何よりも素晴らしいことでした。

会長ほか各役員、班長、8専門部、ボランティア、長寿会、婦人会の皆様がそれぞれの立場で役割を發揮し、チビッコからお年寄りまで多くの人達を巻き込んだのが、フェスティバルを大成功に導きました。本当にご苦労様でした。“少子高齢化何するものぞ！桜台のパワーは凄いで！” けだし、桜台の未来に、明るい兆し、ひとすじの光明を見出した思いがしませんか。